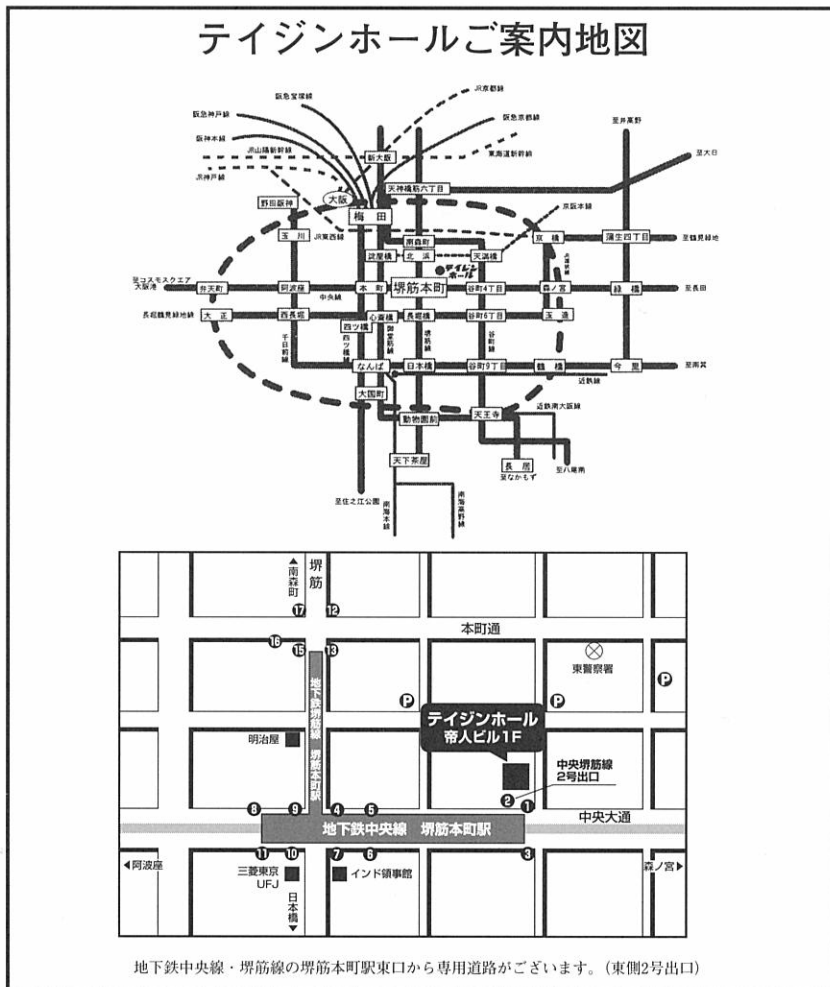


# 第34回 近畿川崎病研究会

日 時：2010年3月13日(土)  
13:00~19:00

会 場：テイジンホール  
大阪市中央区南本町1丁目6番7号  
TEL 06-6268-3131



共 催 近畿川崎病研究会  
帝人ファーマ株式会社

# 一近畿川崎病研究会一

## 第34回 会長

三谷 義英

## 運営委員長

濱岡 建城

## 運営委員

石田 明人

上村 茂

越後 茂之

荻野廣太郎

萱谷 太

城戸佐知子

清沢 伸幸

小垣 滋豊

米田 正始

坂崎 尚徳

佐野 哲也

篠原 徹

清水 達雄

鈴木 淳子

鈴木 啓之

瀬戸 嗣郎

津田 悦子

寺口 正之

土井 拓

冨田 安彦

中川 雅生

西垣 和彦

服部 益治

濱岡 建城

林 環

深谷 隆

松村 正彦

三谷 義英

水戸守寿洋

村上 洋介

森 保彦

吉林 宗夫

## 顧問

尾内善四郎

川崎 富作

北村惣一郎

横山 達郎

## 名誉会員

川島 康生

田村 時緒

森 忠三

## 事務局

京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科部門内

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

TEL 075-251-5832

# —お知らせとお願い—

## 1. ご参加の方へ

- (1) 開始時間は午後1時です
- (2) 参加費は1,000円です  
なお、本会に未加入の方はご入会のほどお願いいたします。  
(年会費は3,000円です)
- (3) 本会の日本小児科学会認定医研修単位は、5単位となっています。
- (4) 本会の日本小児循環器学会認定医研修単位は、8単位となっています。

## 2. 演題発表について

- (1) 発表は、PCを用いた口演でのプレゼンテーションとなります。
- (2) 口演時間は、発表6分(討論4分)です。
- (3) ご発表予定時間の1時間前までに、USBメモリーを「データ受付」  
(ホール1階)にお持ちいただき、受付をお済ませください。  
(動画を含む場合は、必ずご自身のパソコンをご持参ください)
- (4) USBメモリーには、ご発表データのみを入れてください。
- (5) ご発表データは、Windows、MachintoshともにPower Pointで作成されたものをご用意ください。
- (6) 使用OS(データ作成時)は以下のもので作成ください。  
Windows : X P、Vista  
Machintosh : O S X
- (7) アプリケーションソフトは、以下のものをご用意いたします。  
Windows : Power Point 2000、2003、2007に対応  
Machintosh : Power Point X、2004、2008に対応
- (8) ご使用になれるデータのバックアップを必ずお取りください。
- (9) フォントは標準搭載されているものをご使用ください。
- (10) ファイル名は、プログラム No と演者のお名前を入れて作成ください。  
例) 演題 No14、近畿太郎先生の場合 ファイル名: 14 近畿.ppt
- (11) 口演終了後、舞台袖で、お預かりしたUSBメモリーやパソコンを返却いたします。
- (12) 口演内容は、Progress in Medicine 7月号(ライフ・サイエンス)に掲載する予定です。

※ 後日、ライフ・サイエンスから改めてご連絡いたします

【執筆要領】 400字原稿用紙で12枚以内(図表は別)

【原稿メ切】 平成22年5月1日(予定)

【問合せ先】 (株) ライフ・サイエンス 日村 昭仁

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山

TEL 03-3407-8963

開会の挨拶 13:00～13:05

第 34 回会長 三谷 義英 (三重大学大学院 小児科学)

セッション I (急性期川崎病) 13:05～13:55

座長 寺口 正之 (中野こども病院)

### 1. 川崎病急性期治療中に汗疱様皮疹を生じた乳児例

大津赤十字病院 小児科

野崎章仁 本原功二郎 岩朝 徹 壺井伯彦 樋口真司

赤杉和宏 伊吹将吾 伴由布子 今井 剛 廣田常夫

大津赤十字病院 皮膚科

朴 紀央 吉川義顕

### 2. 発症初期に新型インフルエンザ抗原が検出された川崎病の 2 例

和歌山県立医科大学 小児科学教室

末永智浩 鈴木啓之 武内 崇 吉川徳茂

### 3. 当科の不全型川崎病の患児についての検討

市立豊中病院 小児科

川上展弘 宮田憲二 木水友一 松尾久実代 土屋浩史

笹瀬紗知子 河本浩二 吉川真紀子 徳永康行 松岡太郎

### 4. 赤血球粒度分布幅は川崎病血管炎のマーカーになりうるか

金沢医科大学 小児科

小栗真人 秋田千里 北岡千佳 中村常之 犀川 太

### 5. 川崎病の病因についての一考察

神戸市立医療センター中央市民病院 小児科

富田安彦 廣田篤史 宮越千智 山川 勝 岡藤郁夫

宇佐美郁哉 春田恒和

セッションⅡ（急性期治療Ⅰ） 13:55～14:35

座長 吉林 宗夫（近畿大学奈良病院 小児科）

6. 急性期に心不全をきたし治療に難渋した川崎病の1例

神戸市立医療センター中央市民病院 小児科

廣田篤史 宮越千智 山川 勝 富田安彦

7. 多臓器不全を来たし、ECMO、血漿交換、透析にて救命しえた激症川崎病の1例

宇治徳洲会病院 小児科

福居留依 丸山立憲 牧野 茂 田中慎一郎 栗国仁志

篠塚 淳 島 貴史

宇治徳洲会病院 小児外科

富山英紀

宇治徳洲会病院 循環器科

天野知徳 松岡俊三

宇治徳洲会病院 心臓血管外科

中村智宏 村中弘之

近畿大学医学部奈良病院 小児科

吉林宗夫

8. 病初期にステロイドパルス療法を施行したが、巨大冠動脈瘤を合併した川崎病の5歳男児例

中野こども病院

笠原道雄 寺口正之

関西医科大学附属枚方病院 小児科学教室

吉村 健 内山敬達 金子一成

関西医科大学附属滝井病院 小児科学教室

谷内昇一郎

9. シクロスポリンが著効した難治性川崎病の2歳男児例

津山中央病院 小児科

北本晃一 中原千嘉 藤本正伸 片山 威 杉本守治

梶 俊策

セッションⅢ（急性期治療Ⅱ） 14:35～15:05

座長 佐野 哲也（大阪厚生年金病院 小児科）

10. 当院で川崎病 I V I G 不応例に対して血漿交換を施行した 8 症例

—当院での Anti-inflammatory Strategy を中心に—

兵庫県立塚口病院 小児科

高原賢守 大西 聡 川崎英史 丸茂智恵子 制野勇介

田中裕也 中川 拓 竹下佳弘 多久和真由子 飯尾 潤

木村祐次郎 前田真治 松本貴子 芥川 宏 野中路子

毎原敏郎 平尾敬男

兵庫県立塚口病院 小児外科

中條 悟 片山哲夫

兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科

坂崎尚徳

11. 当科における過去 3 年間の川崎病に対するガンマグロブリン大量療法  
不応例の検討

加古川市民病院 小児科

山内 淳

12. I V I G 不応例に対する、ステロイドパルス、Infliximab を含む急性期  
川崎病治療プロトコール：当科における 250 症例での検討

近畿大学医学部奈良病院 小児科

嶋尾綾子 石原温子 武野 亨 鶴見文俊 渡辺 健

樋口嘉久 吉林宗夫

シンポジウム 15:05～16:10

「近畿地区における I V I G 不応（予測）例に対する

急性期川崎病治療研究の今後」

座長 鈴木 啓之（和歌山県立医科大学 小児科）

三谷 義英（三重大学大学院 小児科学）

S 1. I V I G 不応予測例に対するステロイドパルス＋I V I G 初期治療

大阪川崎病治療研究グループ，大阪厚生年金病院 小児科 佐野哲也

- S 2. I V I G不応例に対する追加 I V I G+プレドニン療法：  
三重県での急性期川崎病治療研究  
三重大学大学院 小児科学 大橋啓之
- S 3. Infliximab (レミケード) 療法  
関西医科大学 小児科 荻野 廣太郎
- S 4. 難治性川崎病に対するシクロスポリン治療  
和歌山県立医科大学 小児科 鈴木啓之
- S 5. 川崎病臨床研究の実施にあたって  
滋賀医科大学附属病院 治験管理センター 中川雅生

コーヒープレイク 16:10~16:25

事務局報告 16:25~16:30

運営委員長 濱岡 建城 (京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科部門)

【特別講演 1】 16:30~17:10

座長 白石 公 (国立循環器病センター 小児循環器診療部)

「原因不明疾患における感染因子の網羅的解析—川崎病との関わり」

国立感染症研究所 ウイルス第1部 水谷哲也 先生

セッションIV (遠隔期研究) 17:10~17:40

座長 津田 悦子 (国立循環器病センター 小児循環器診療部)

13. MRIにおける心臓イメージング — 32チャンネルの使用経験 —

東京通信病院 小児科

北爪 勉 鈴木淳子

心臓画像クリニック飯田橋

小山 望 寺島正浩

日本赤十字社医療センター 小児科

藪部友良 土屋恵司

14. Dual-Source CT による小児(12歳以下)川崎病冠動脈病変評価の検討

国立循環器病センター 小児循環器診療部

松尾 倫 津田悦子 黒寄健一

国立循環器病センター 放射線診療部

神崎 歩

15. 川崎病冠動脈障害に対するバイパス術後症例におけるMDCTによる評価

近畿大学医学部 小児科学教室

丸谷 怜 三宅俊治 篠原 徹 竹村 司

【特別講演2】 17:40~18:20

座長 濱岡 建城 (京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科部門)

「循環器内科医から見た川崎病後冠動脈病変と冠イベント」

ー 特にロータブレード、エキシマ・レーザー、薬剤溶出性ステントによる最新カテーテル治療の現状と問題点」

千葉西総合病院 三角 和雄 先生

要望演題 18:20~18:50

「成人期川崎病既往者の臨床経験ー冠動脈病変と冠イベント」

座長 西垣 和彦 (岐阜大学大学院 循環器内科)

三谷 義英 (三重大学大学院 小児科学)

16. 冠イベントを認めた川崎病既往者の検討

愛媛大学大学院医学系研究科 小児医学<sup>1)</sup>

愛媛大学病院 脳卒中・循環器病センター 小児循環器部門<sup>2)</sup>

成人循環器部門<sup>3)</sup>、外科循環器部門<sup>4)</sup>

檜垣高史<sup>1),2)</sup> 山本英一<sup>1),2)</sup> 松田 修<sup>1)</sup> 中野威史<sup>1)</sup>

村上至孝<sup>1)</sup> 小西恭子<sup>1)</sup> 太田雅明<sup>1)</sup> 高田秀実<sup>1)</sup>

長谷幸治<sup>1)</sup> 村尾紀久子<sup>1)</sup> 高橋由博<sup>1)</sup> 千阪俊行<sup>1)</sup>

森谷友造<sup>1)</sup> 渡部竜助<sup>1)</sup> 石井榮一<sup>1)</sup> 岡山英樹<sup>3)</sup>

永井啓行<sup>3)</sup> 青野 潤<sup>3)</sup> 檜垣實男<sup>3)</sup> 長嶋光樹<sup>4)</sup>

鹿田文昭<sup>4)</sup> 河内寛治<sup>4)</sup>



17. 冠動脈障害を伴う成人期川崎病既往者の現況と問題点

兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科  
坂崎尚徳 佃 和弥 板東賢二

18. 川崎病後遺症由来の若年者急性心筋梗塞に対する primary PCI

京都第一赤十字病院 循環器科  
白石 淳 有吉 真 木村雅喜 松井朗裕 竹田光男  
兵庫匡幸 島 孝友 岡田 隆 河野義雄  
京都第一赤十字病院 救急部  
有原正泰  
京都府立医科大学大学院 医学研究科 循環器病態制御学  
沢田尚久 松原弘明

閉会の挨拶 18:50～19:00

第 34 回会長 三谷 義英 (三重大学大学院 小児科学)  
第 35 回会長 坂崎 尚徳 (兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科)  
帝人ファーマ株式会社

# 近畿川崎病研究会会則

2009年3月改訂

1. 名称  
近畿川崎病研究会（The Society of Kinki Area Kawasaki Disease Research）と称す。
2. 目的  
川崎病の病因、病態、病理、治療及び管理等について、基礎及び臨床の両面から研究するとともに、学術集会を開催し、医学の発展に寄与する。
3. 事業
  - 1) 上記の目的を達成するために運営委員会を組織し、学術集会を年1回開催する。その内容は、広く公表することを原則とする。
  - 2) 学術集会は参加費を徴収し、その運営に充てる。
  - 3) 本事業は、帝人ファーマ株式会社との共催とする。
4. 運営委員会
  - 1) 本会に次の役員を置く。

①運営委員長	1名
②運営委員	若干名
③会計	1名
④監事	1名
⑤顧問	
⑥名誉会員	
  - 2) 運営委員及び運営委員長は、運営委員会が推薦、選出する。
  - 3) 運営委員長は、本会を統括し、その任期は3年とする。なお、再任をさまたげない。
  - 4) 運営委員は年齢の上限を満65歳とし、満65歳に達した年度末（3月）をもって退任とする。
  - 5) 運営委員会は、学術集会を主宰するための会長の選出を行う。会長の任期は1年とする。
  - 6) 運営委員会は、会長を補佐し、学術集会の企画、運営及び記録集の発行等を行う。また、本会運営に関する重要な事項を審議する。
  - 7) 会計及び監事は運営委員の中から推薦、選出し、任期を3年とする。
  - 8) 会計は運営委員会において前年度の会計報告を行う。
  - 9) 監事は本会の会計及び資産を監査する。
  - 10) 名誉会員は運営委員長が運営委員会にはかり、推薦される。名誉会員は原則満65歳以上の運営委員を退任した者を対象とし、本会に特に貢献のあった者とする。
  - 11) 顧問は運営委員長が運営委員会にはかり名誉会員の中から会の運営上必要と認めた者とし、運営委員会に出席できる。
5. 会員
  - 1) 本会に入会希望する者は氏名、住所、所属を明記し、本会事務局に申し込む。
  - 2) 退会しようとする者はその旨を本会に通知する。また、年会費を3年間滞納したときは退会したものとみなす。
6. 学術集会の発表者の制限  
学術集会で発表できる者は本会の会員に限定する。特別講演など当番会長が承認した場合はこの限りではない。
7. 会計
  - 1) 本会の会計は年会費、参加費及びその他の収入をもって充て、会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。
  - 2) 年会費は3,000円/人、参加費は1,000円/人とする。  
継続して学術集会に参加の意思がなく、本会の会員登録を希望しない場合は参加費（1,000円/人）のみの学術集会への参加を認める。
  - 3) 名誉会員および顧問は年会費を要しない。
8. 会則の変更  
本会則は、運営委員会の議決を経て変更することができる。
9. 事務局  
本会の事務局は運営委員長の所属施設に置くものとする。

京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科部門  
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465